

表1 推定リステリア症罹患率と JANIS 検査部門集計対象医療機関の年次推移

	2008年	2009年	2010年	2011年
推定罹患率 (/100万人・年)	1.06	1.38	1.58	1.57
推定リステリア症患者数(人)	135.2	176.0	202.1	200.9
JANIS リステリア患者数(人)	49	65	84	109
集計対象医療機関数	426	480	483	579

IASR Vol. 33 p. 247-248: 2012 年 9 月号 より抜粋

表2. 2008年リステリア罹患率

2008年	JANIS参加病院		JANISリステリア分離病院		医療施設調査2010年 (一般病床)		
	血液培養提出 病院数	血液培養提出 病院病床数	病院数	リステリア症例 数	病床数	代表率	推定全国 症例数
200-299床	62	15014	2	2	114849	0.13	15.30
300-399床	124	41804	8	8	144015	0.29	27.56
400-499床	78	34028	7	7	103431	0.33	21.28
500-599床	54	28890	8	9	77401	0.37	24.11
600-699床	50	31687	8	11	56783	0.56	19.71
700-799床	18	13035	3	4	32233	0.40	9.89
800-899床	18	13344	3	3	24251	0.55	5.45
900床以上	22	23204	4	5	55351	0.42	11.93
	426		43	49			135.23

2008年人口 127,692,000人、推定罹患率(対100万人)1.06

表 3. 2009 年 リステリア罹患率

2009年	JANIS参加病院		JANISリステリア分離病院		医療施設調査2010年 (一般病床)		
	血液培養提出病 院数	血液培養提出病 院病床数	病院数	リステリア症例数	病床数	代表率	推定全国症 例数
200-299床	83	20077	6	6	112559	0.18	33.64
300-399床	138	46619	9	9	143407	0.33	27.69
400-499床	90	39408	8	9	104550	0.38	23.88
500-599床	70	37457	11	13	77331	0.48	26.84
600-699床	52	32884	13	15	56753	0.58	25.89
700-799床	23	16804	2	3	30219	0.56	5.39
800-899床	7	6500	4	4	24966	0.26	15.36
900床以上	17	18973	6	6	54593	0.35	17.26
	480		59	65			175.95

2009年人口 127,510,000人、推定罹患率(対100万人)1.38

表 4. 2010 年 リステリア罹患率

2010年	JANIS参加病院		JANISリステリア分離病院		医療施設調査2010年 (一般病床)		
	血液培養提出病 院数	血液培養提出病 院病床数	病院数	リステリア症 例数	病床数	代表率	推定全国症 例数
200-299床	68	16540	3	3	112493	0.15	20.40
300-399床	141	47324	13	13	142719	0.33	39.21
400-499床	99	43209	14	16	103741	0.42	38.41
500-599床	68	36551	10	11	76149	0.48	22.92
600-699床	46	30457	11	12	57970	0.53	22.84
700-799床	20	14633	6	7	29753	0.49	14.23
800-899床	17	14071	7	8	24043	0.59	13.67
900床以上	24	24989	11	14	54275	0.46	30.41
	483		75	84			202.09

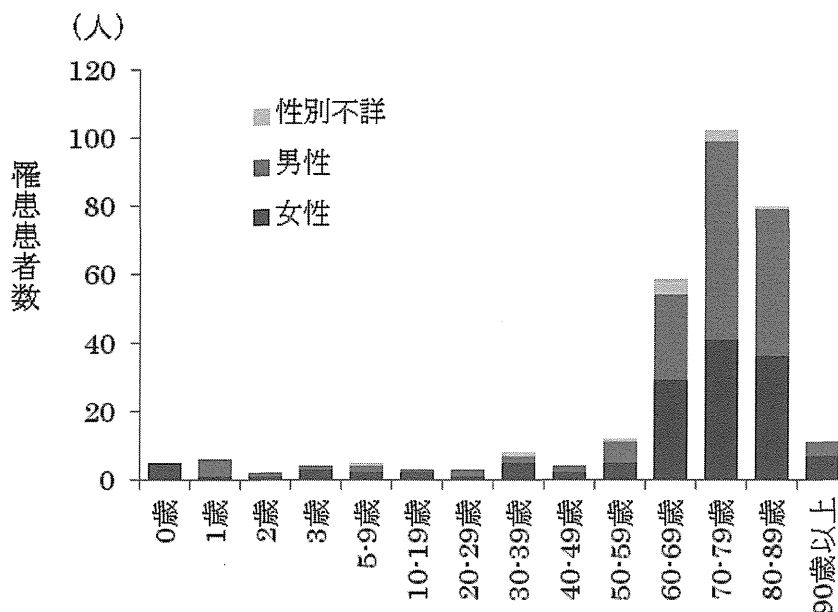
2010年人口 128,057,000人、推定罹患率(対100万人)1.58

表 5. 2011 年リステリア罹患率

2011年	JANIS参加病院		JANISリステリア分離病院		医療施設調査2010年 (一般病床)		
	血液培養提出病院数	血液培養提出病院病床数	病院数	リステリア症例数	病床数	代表率	推定全国症例数
200-299床	81	19809	1	1	112493	0.18	5.68
300-399床	168	56584	18	19	142719	0.40	47.92
400-499床	116	50829	15	16	103741	0.49	32.66
500-599床	76	40690	9	10	76149	0.53	18.71
600-699床	60	38139	18	25	57970	0.66	38.00
700-799床	25	18300	6	10	29753	0.62	16.26
800-899床	21	17417	10	13	24043	0.72	17.95
900床以上	32	34365	11	15	54275	0.63	23.69
	579		88	109			200.87

2011 年人口 128,057,000 人、推定罹患率(対 100 万人) 1.57

図 1 年齢群、性別リステリア症罹患患者数 (2008~2011 年 n=305\*)



\*年齢不詳であった 2 例は集計から削除

IASR Vol. 33 p. 247-248: 2012 年 9 月号 より抜粋

図2 都道府県別リステリア分離数(2008年-2011年)

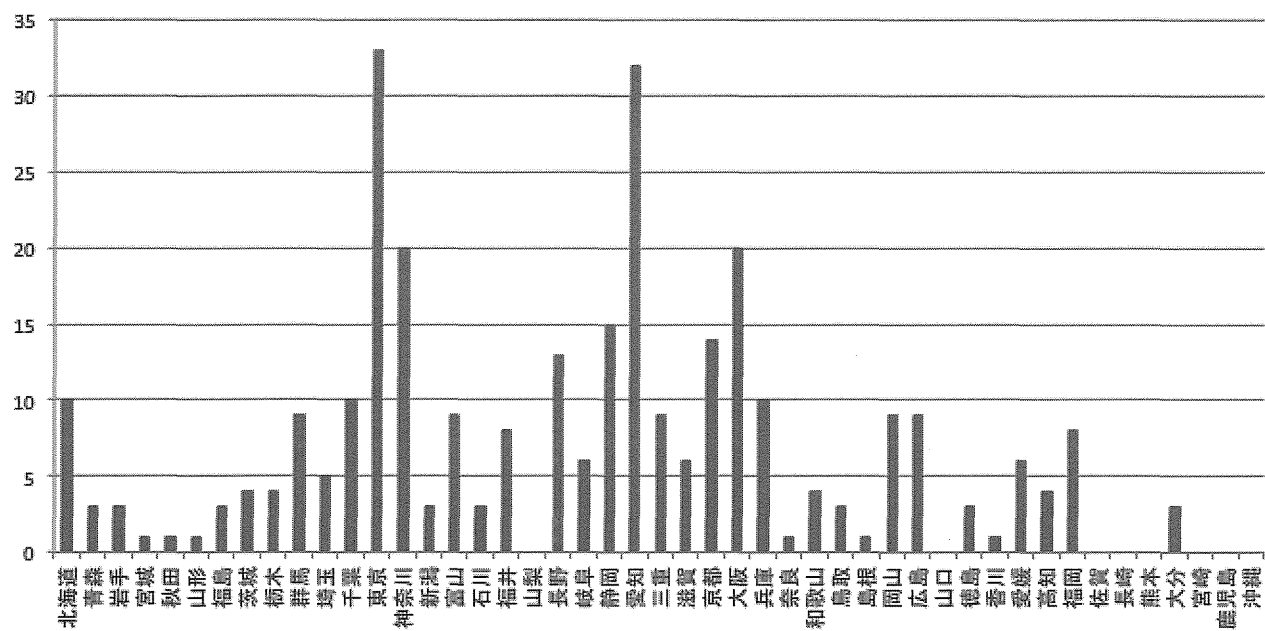


図3

各菌種の検体別内訳 2007-2010年

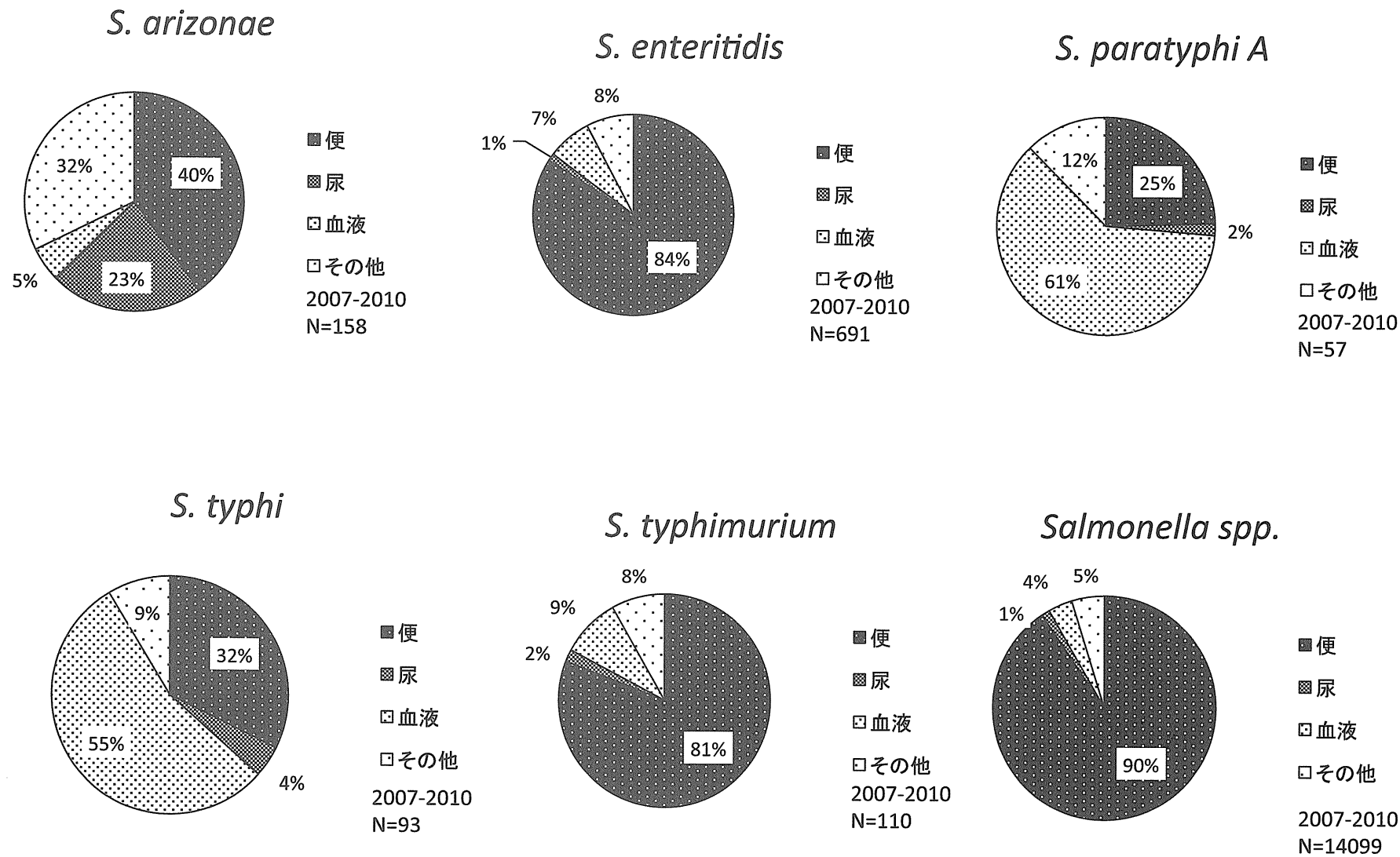


図4

各菌種の検体別内訳 2001-2007年

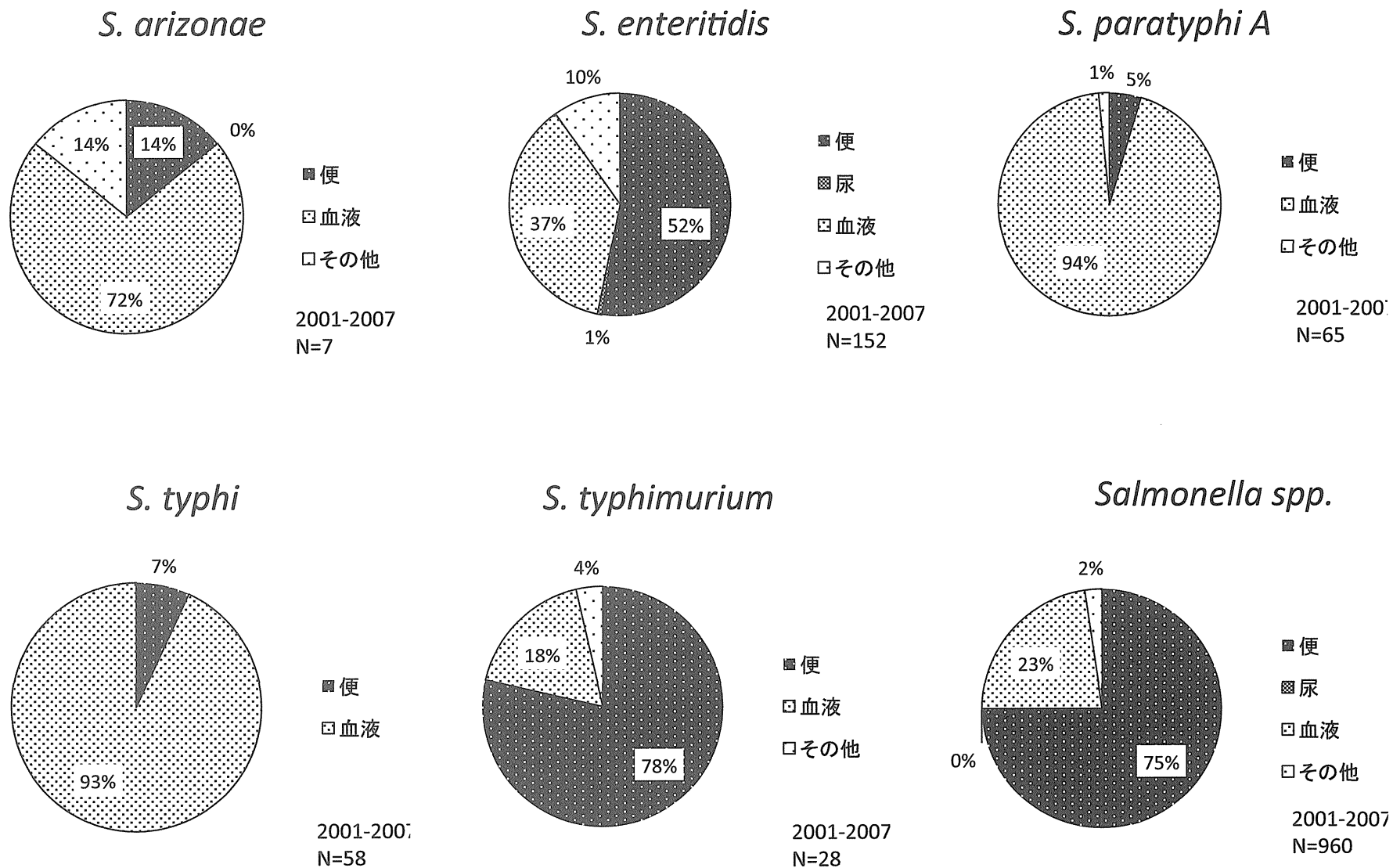


図5

年齢別患者数 2007-2010

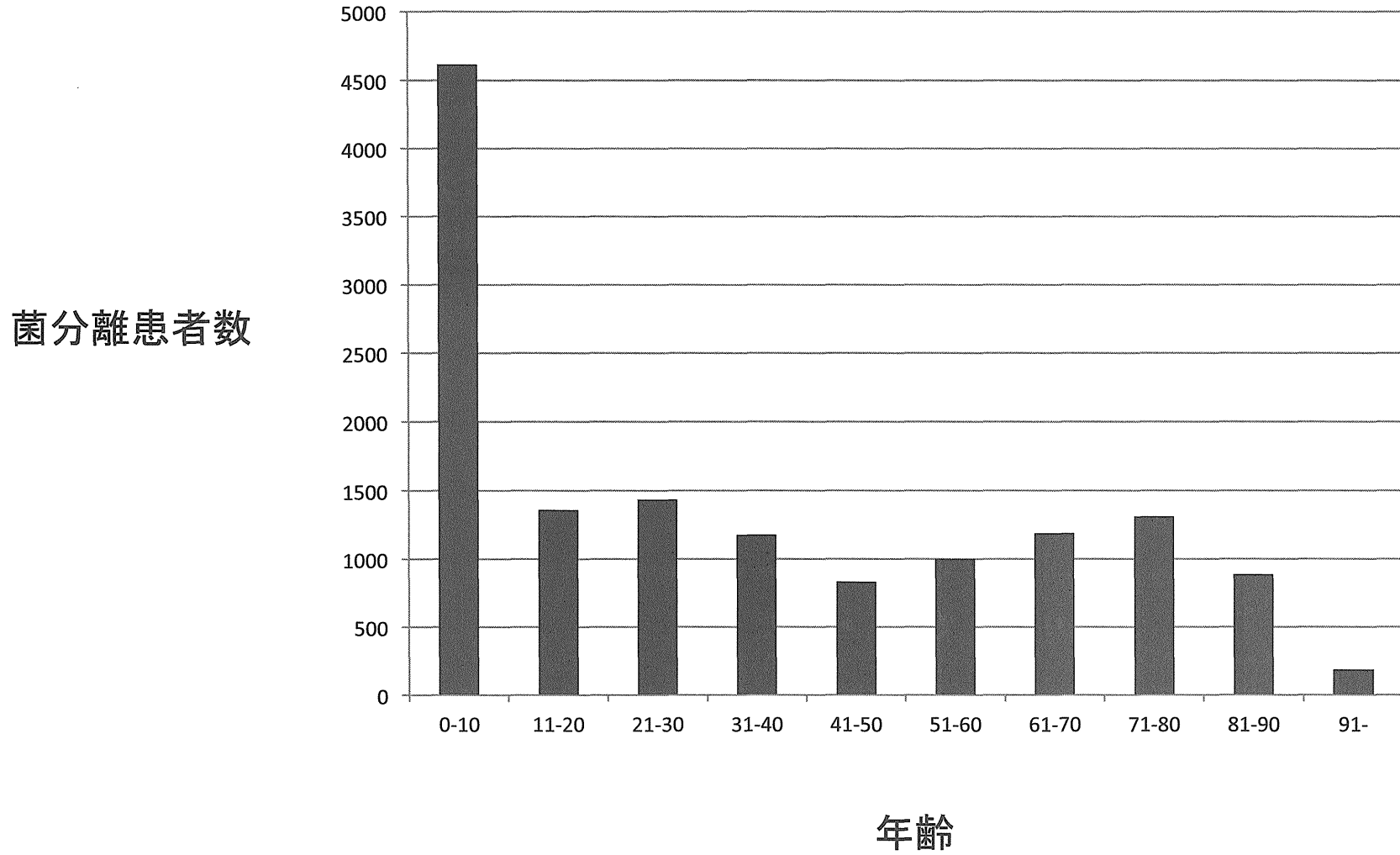


図6

### 患者数2007-2010

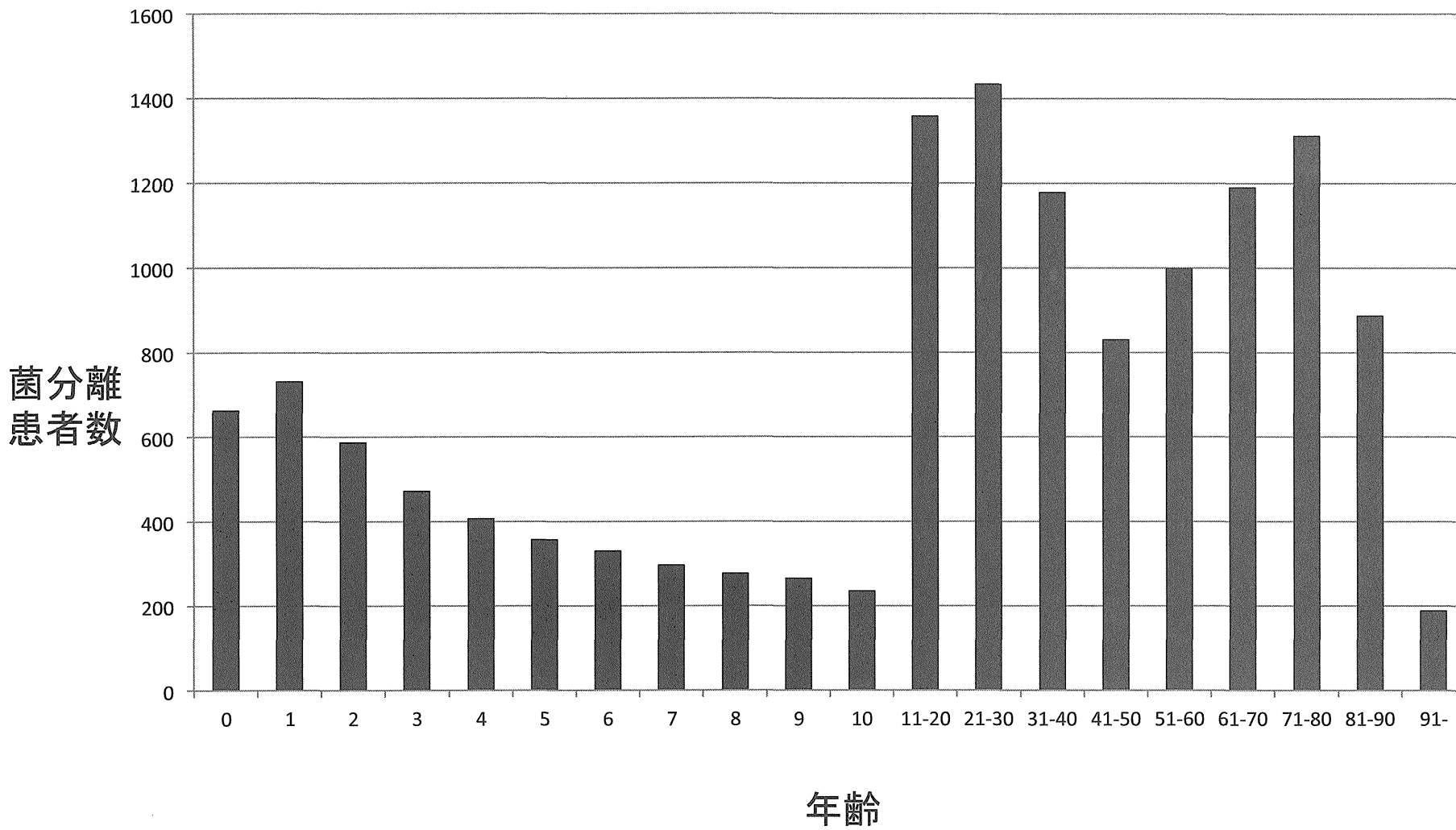




図7-1

# 都道府県別菌分離患者数

2007

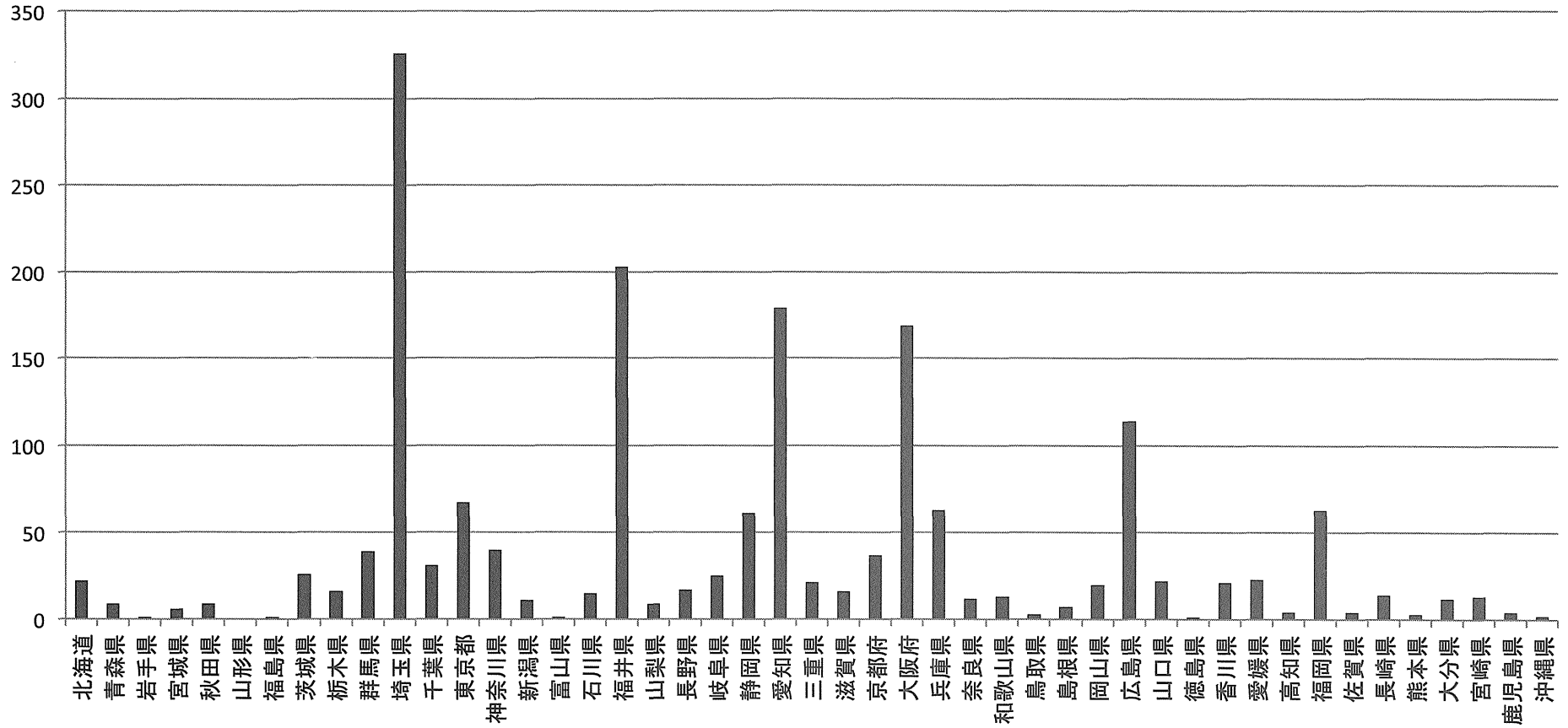


図7-2

# 都道府県別菌分離患者数

2008

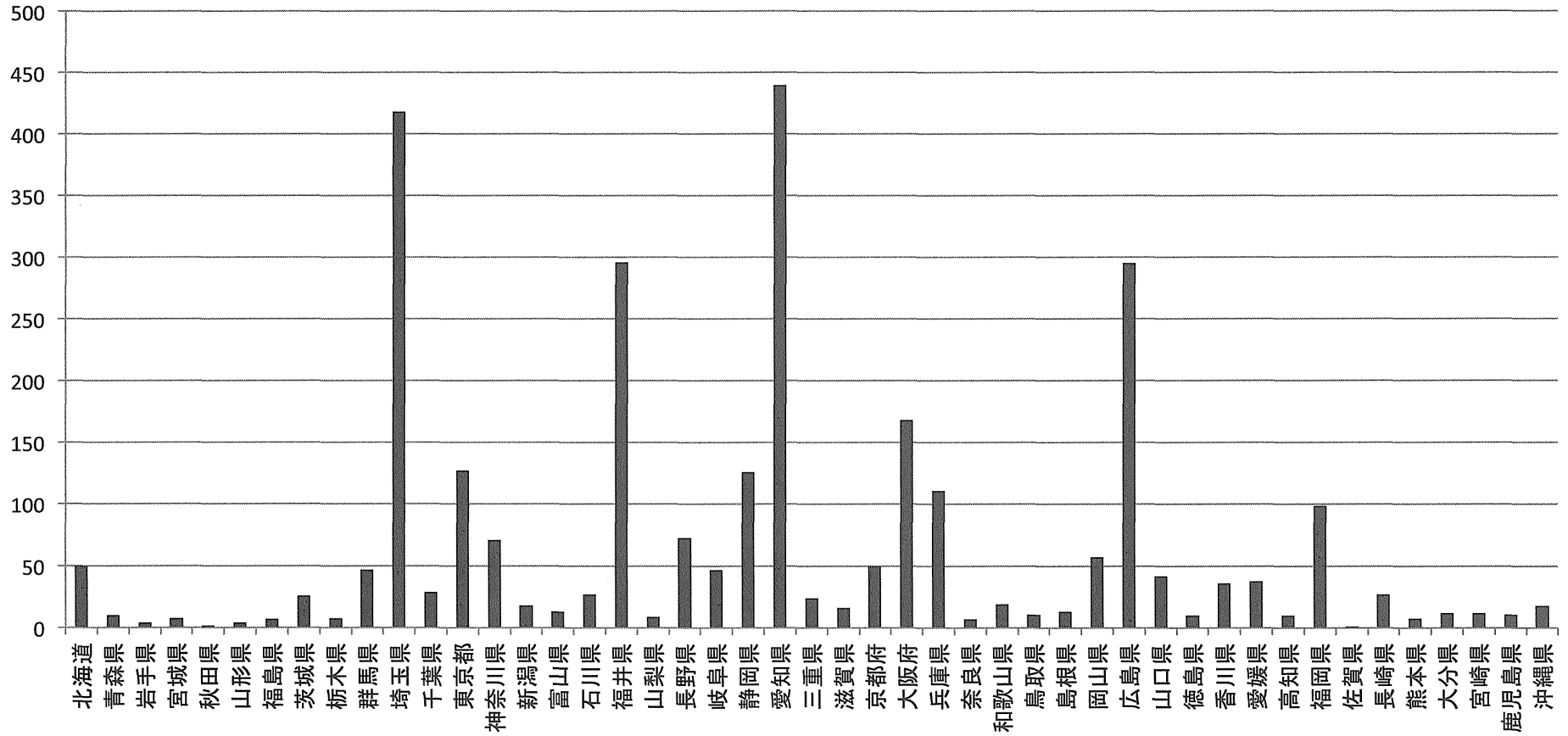


図7-3

# 都道府県別菌分離患者数

2009

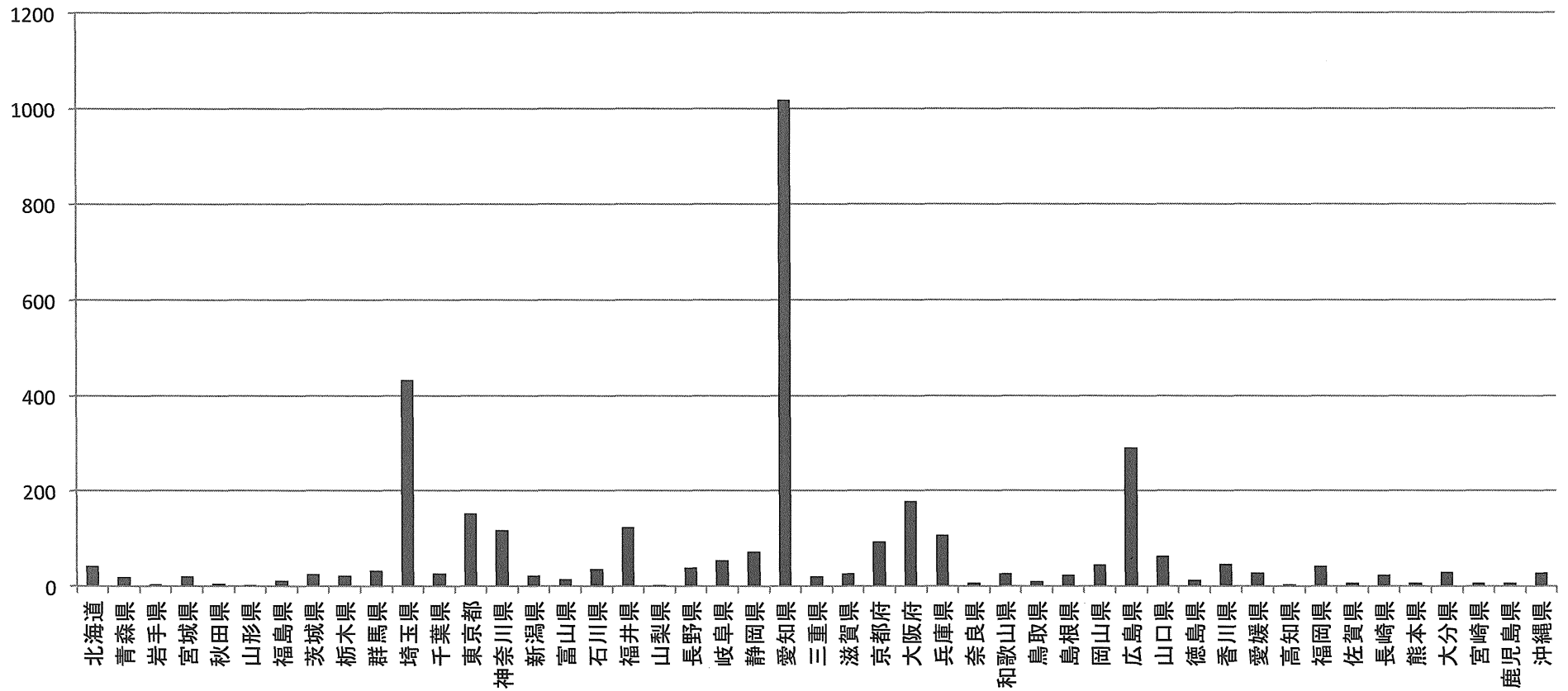


図7-4

# 都道府県別菌分離患者数

2010

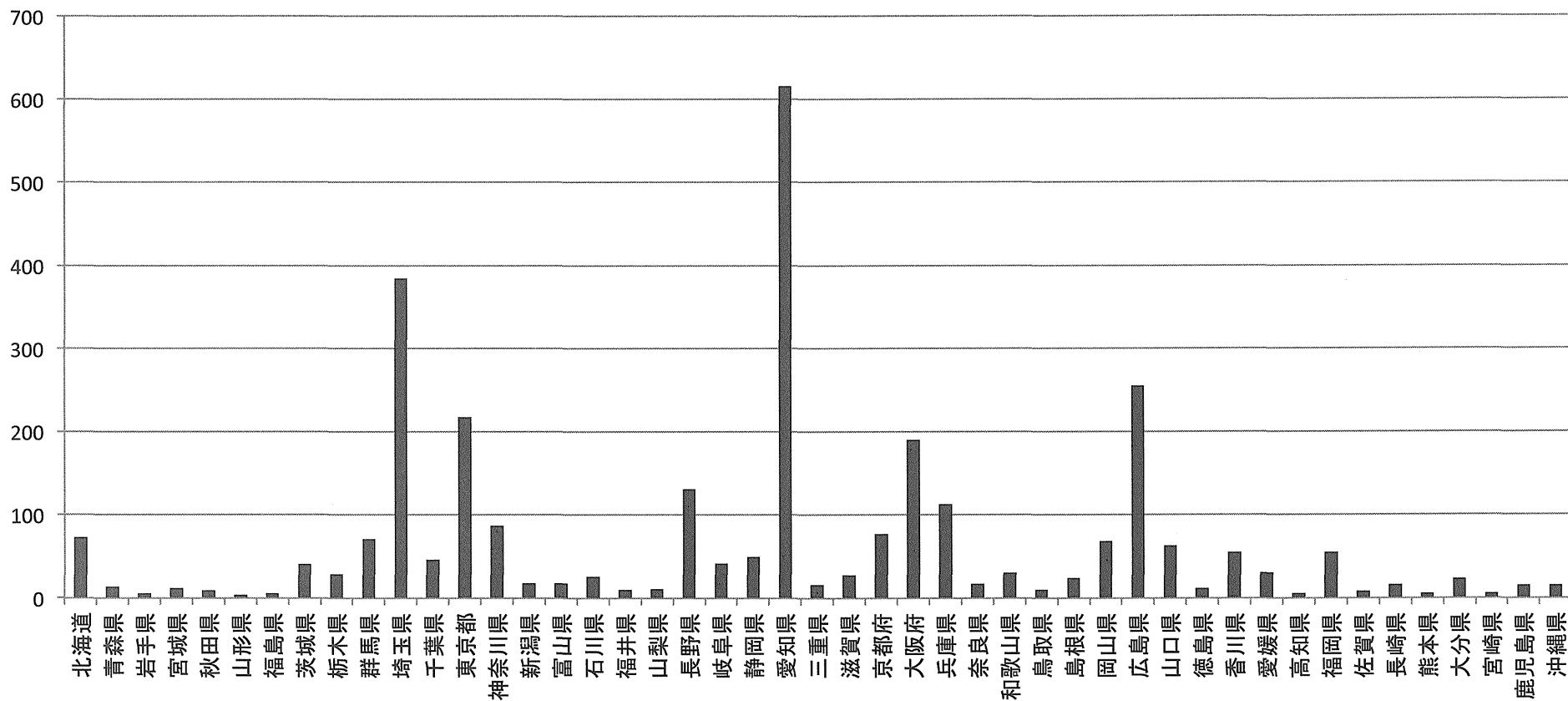


図7-5

# 都道府県別菌分離患者数

2011

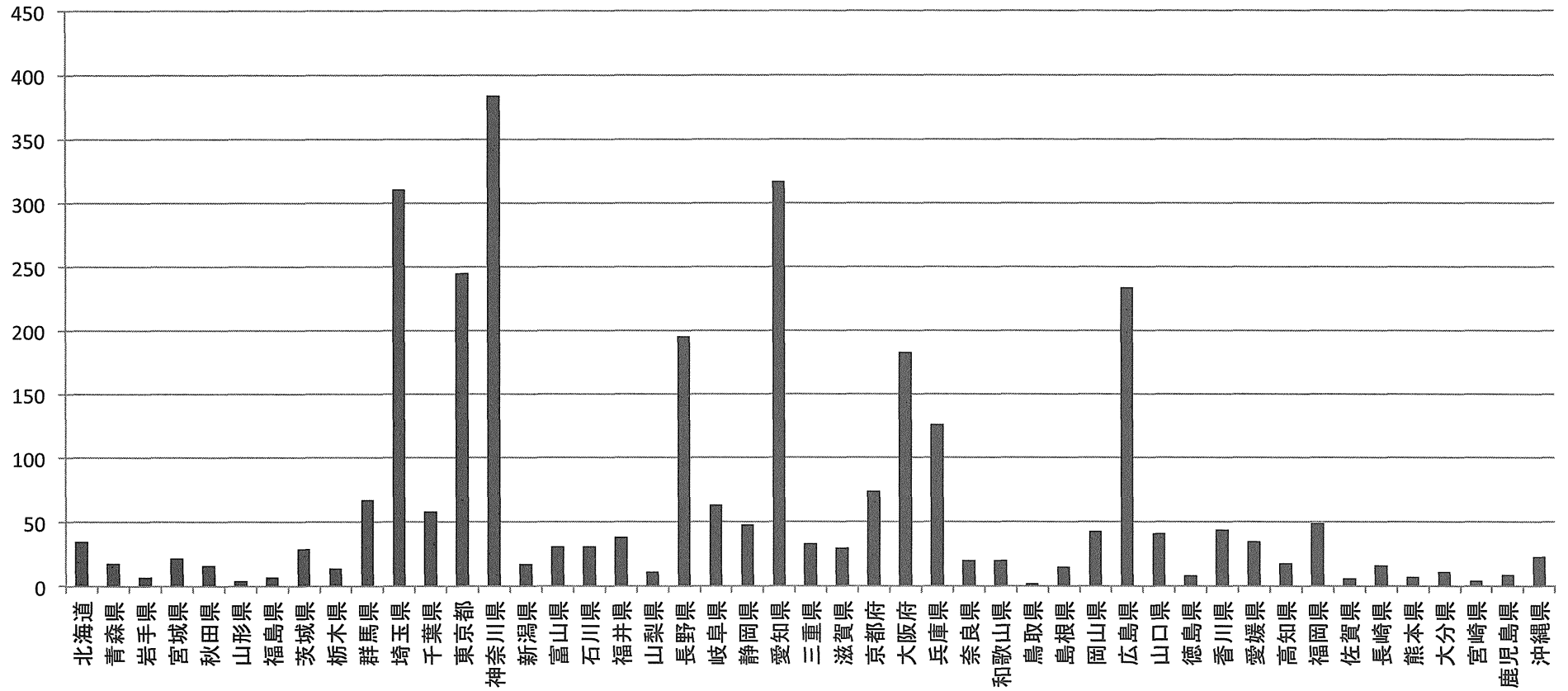
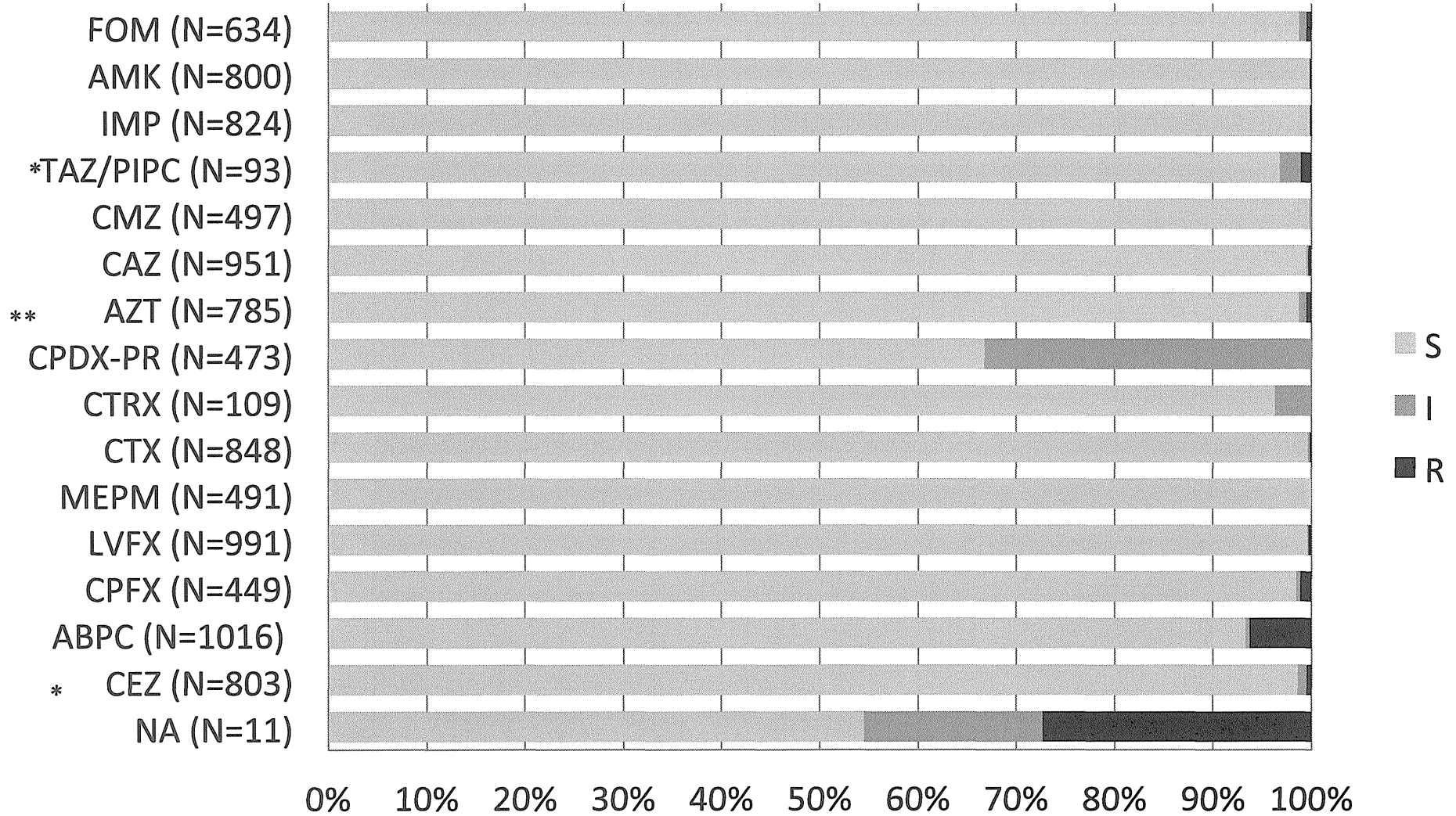


図8

Salmonella spp.全体での薬剤耐性 2007

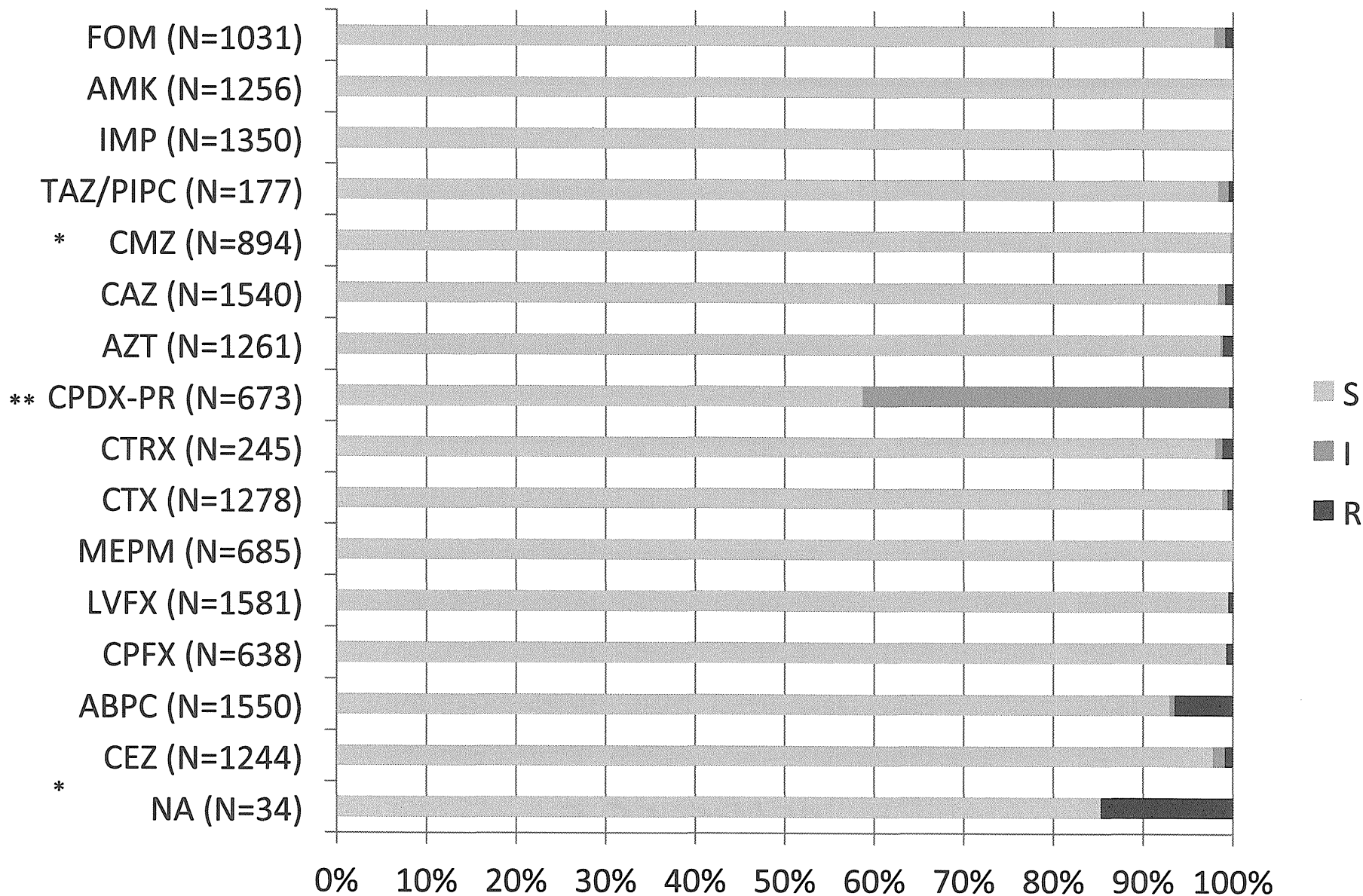
グラフ タイトル



\*第一世代、第二世代セファロスポリン、セファマイシンは通常臨床へはRと報告されるが、ここでは検査上の結果を表示した。\*\*CPDXのIIは、R以外の判定を含む。

図9

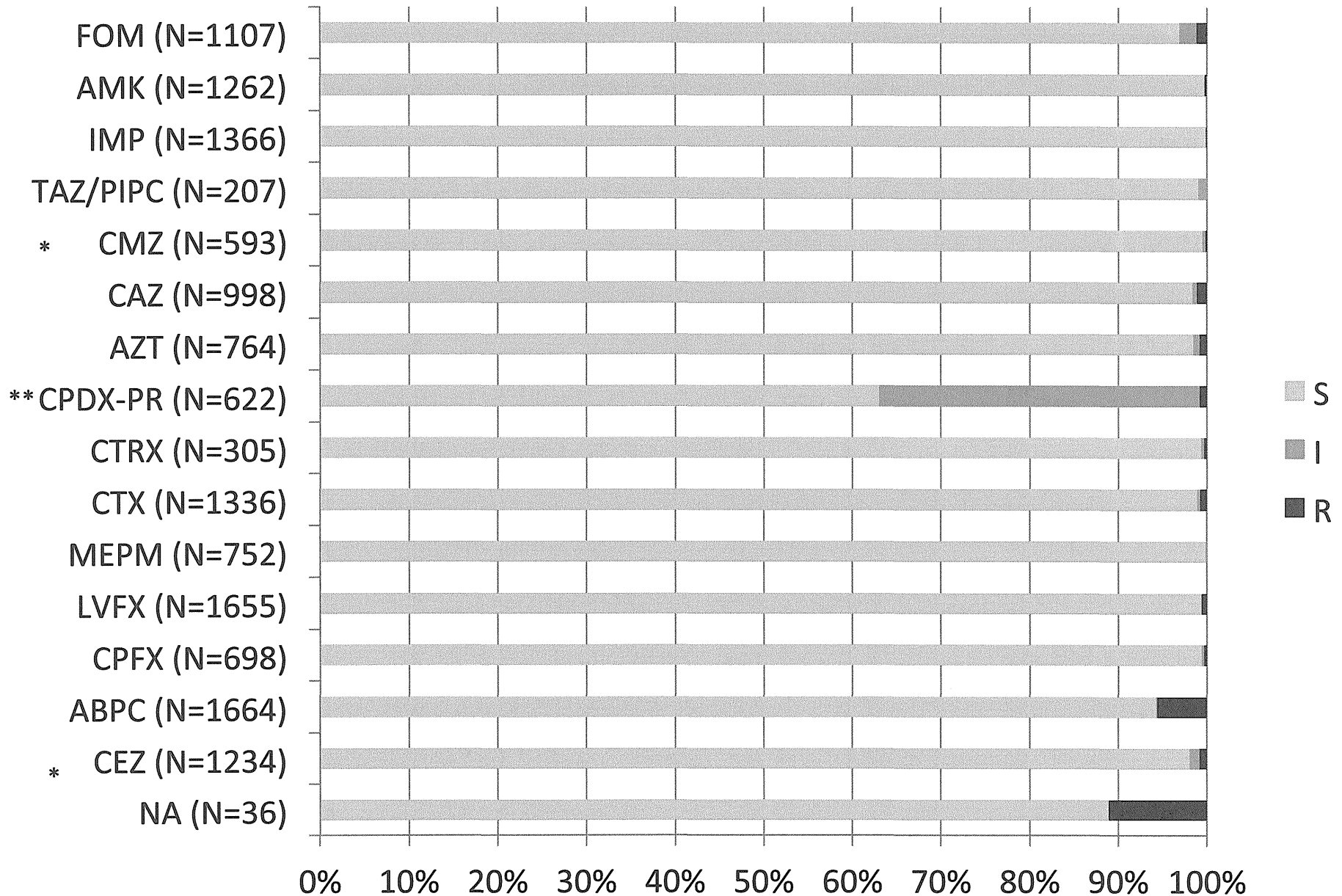
Salmonella spp.全体での薬剤耐性 2008



\*第一世代、第二世代セファロスポリン、セファマイシンは通常臨床へはRと報告されるが、ここでは検査上の結果を表示した。\*\*CPDXのIは、R以外の判定を含む。

図10

Salmonella spp.全体での薬剤耐性 2009

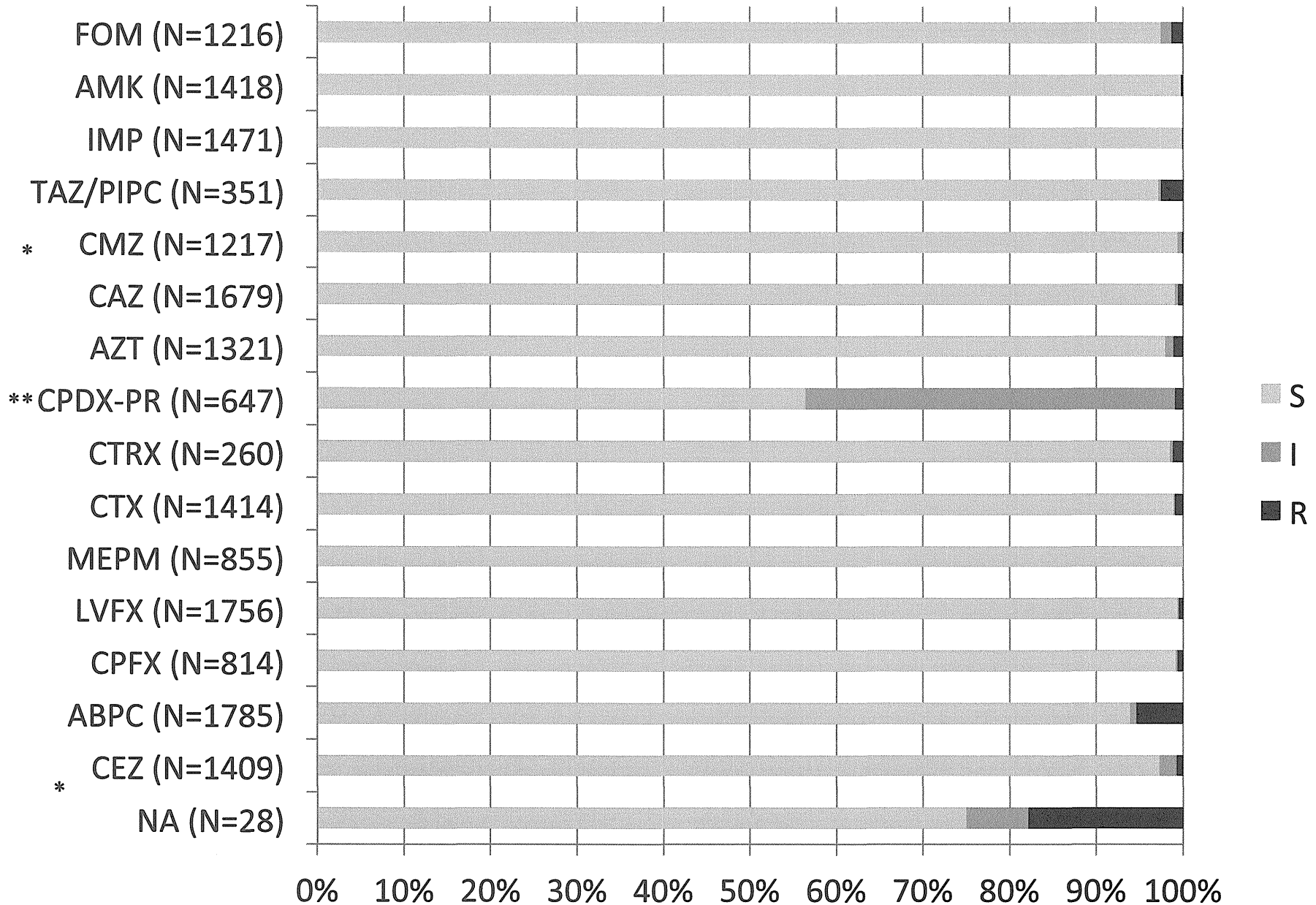


\*第一世代、第二世代セファロスポリン、セファマイシンは通常臨床へはRと報告されるが、ここでは検査上の結果を表示した。\*\*CPDXのIIは、R以外の判定を含む。



図11

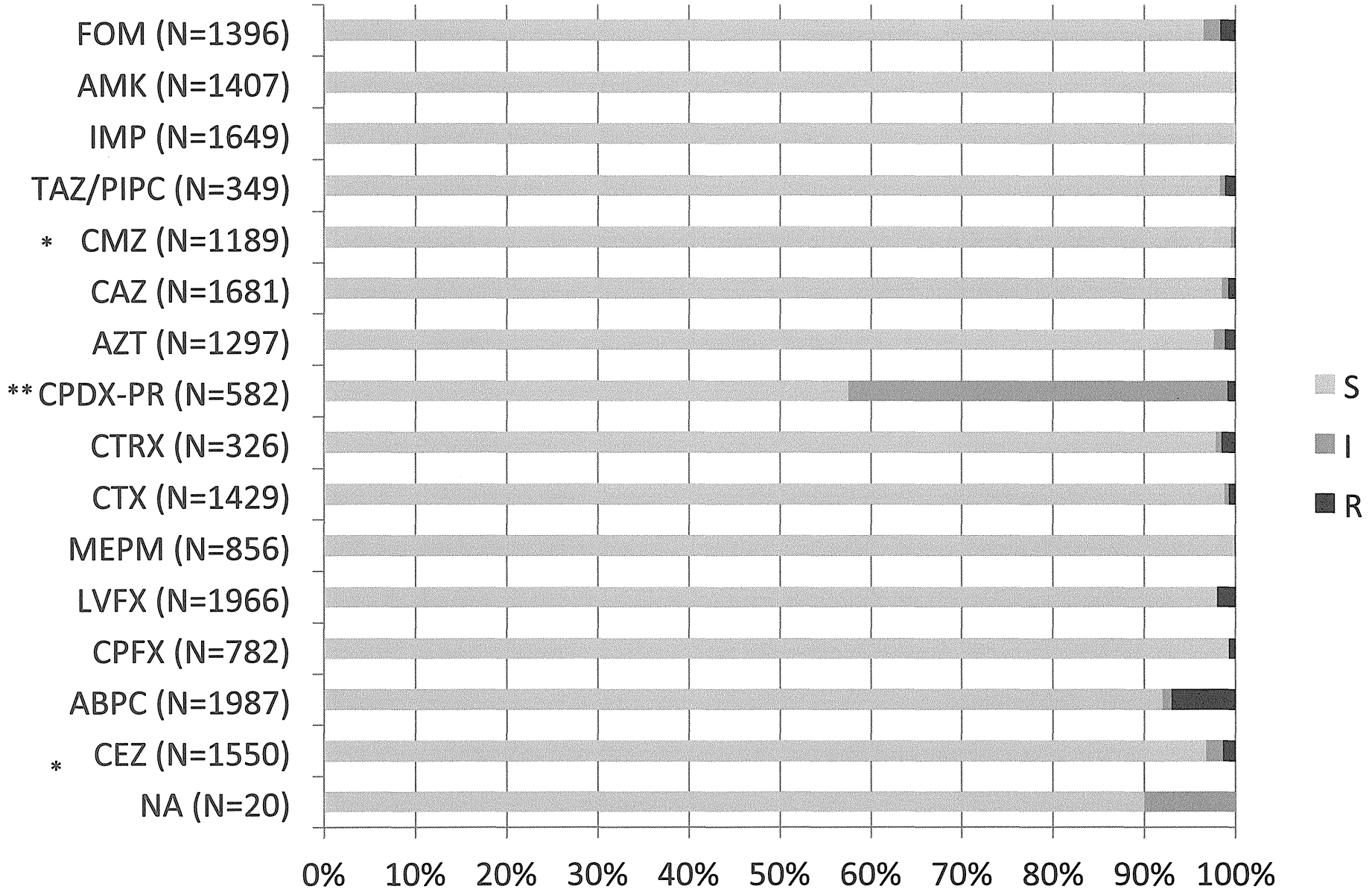
Salmonella spp.全体での薬剤耐性 2010



\*第一世代、第二世代セファロスポリン、セファマイシンは通常臨床へはRと報告されるが、ここでは検査上の結果を表示した。\*\*CPDXのIIは、R以外の判定を含む。

図12

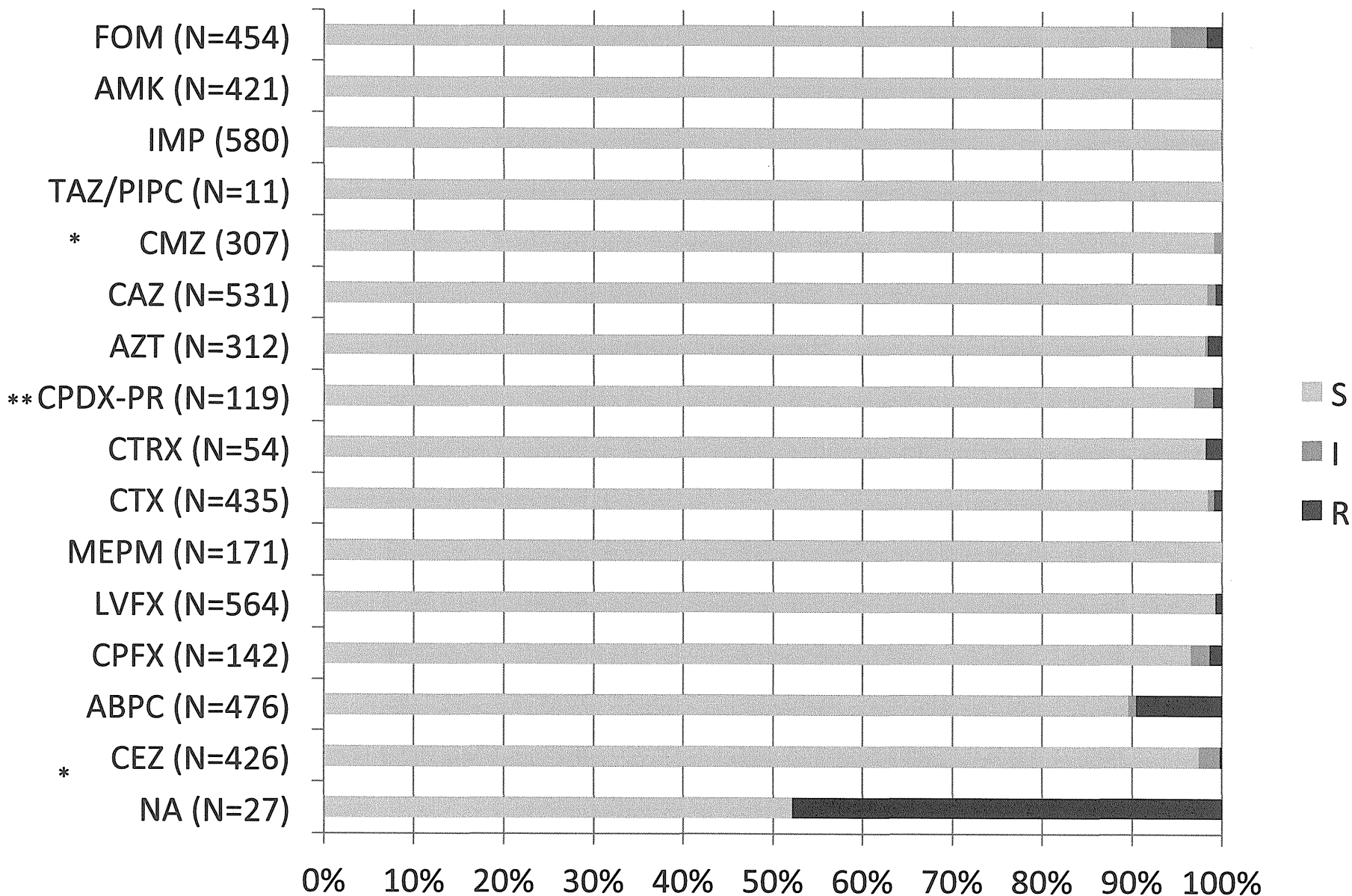
Salmonella spp.全体での薬剤耐性 2011



\*第一世代、第二世代セファロスポリン、セファマイシンは通常臨床へはRと報告されるが、ここでは検査上の結果を表示した。\*\*CPDXのIIは、R以外の判定を含む。

図13

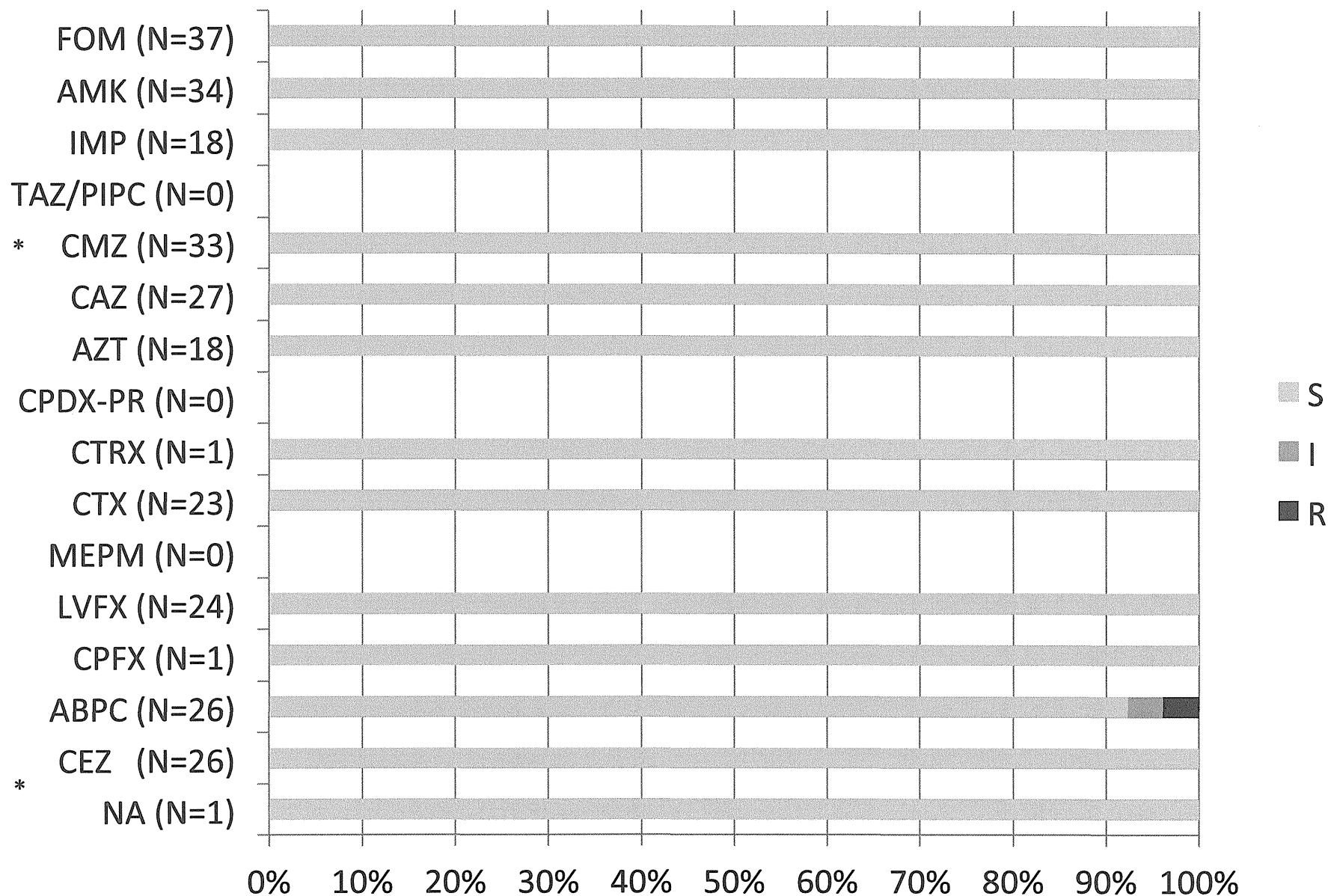
Salmonella spp.全体での薬剤耐性 2001-2007



\*第一世代、第二世代セファロスポリン、セファマイシンは通常臨床へはRと報告されるが、ここでは検査上の結果を表示した。\*\*CPDXのIIは、R以外の判定を含む。

図14

Salmonella spp.全体での薬剤耐性 2001



\*第一世代、第二世代セファロスポリン、セファマイシンは通常臨床へはRと報告されるが、ここでは検査上の結果を表示した。